

今回は、訪問教育と、高等部の様子について、紹介します。

訪問教育の取り組み



訪問教育では、高等部1年生1名が、生活介護事業所中仙道デイサービスセンターで一日現場実習を行いました。玄関口に大好きなカープ坊やのウェルカムボードが飾られており、スタッフの方から温かく迎えられました。健康観察と実習日誌確認の後、午前の余暇活動として制作活動やゲーム大会に参加したり、季節の仮装をして記念撮影をしたりと、楽しい雰囲気の中で余暇時間を楽しみました。午後からは、利用者さんのリハビリの様子を見たり、保護者からリハビリについて質問をしたりしながら、ゆったりとした時間を過ごしました。帰りには、スタッフの方から、実習の様子の写真が入った思い出カードを頂き、保護者と共にうれしい気持ちで実習を終えました。事後学習では、実習を振り返り、お世話になった方々にお礼の手紙を書く学習にも取り組みました。実際に事業所での生活を体験できたことは、卒業後の進路を考える上で、とても有意義な機会になりました。



高等部① 3学期現場実習が終わりました



年末年始にかけてインフルエンザやコロナウィルス感染者増加等の情報から、3学期の現場実習が心配されましたが、予定通り実施することができました。3学期の実習は1・2年生の生徒が対象で、2年生は、2回目の個別体験実習でした。1年生は校内実習を基本として、期間中に1部生徒が初めて校外へ実習に行きました。2~3人グループで3カ所の事業所（ピュアリティまきび・天満屋ハピーズ大安寺店・JR西日本あいウィル）に分かれて1週間、現場実習に行きました。初めて1人で通勤したり、実際の職場で他の社員の方と一緒に働いたりすることへの緊張や不安があったと思いますが、今回は教員の付添指導もあり、程よい安心感と緊張感で実習ができた様子です。



高等部② 「卒業生の話を聞く会」がありました

2月29日（木）、卒業生2名に来校していただき「卒業生の話を聞く会」を開きました。今年度は、就労継続支援A型事業所の「ZENKO（南区）」と「こだま（北区奉還町ベーカリーショップNicoNico堂）」に就労中の卒業生に講師として来ていただきました。卒業生から、現在の進路先での活動や仕事の内容、うれしいこと、大変なこと、毎日

の生活の様子や今後の夢について話していただきました。また、生徒からは、仕事のやりがいについての質問や、休憩時間はどのように過ごしているか等、多くの質問がありました。1つ1つ自分の言葉で、わかりやすく答えてくれました。身近な先輩がそれぞれの進路先で夢をもって日々がんばっている姿に、生徒たちはしっかりと学ぶことができていました。

